

2019年4月9日

アクティブなのに低コスト！ テーマ型インデックス連動ファンドについて

- 純資産残高に占める比率はパッシブファンド（ETFを含む）が上昇し、アクティブファンドが低下。新規設定ファンド数では業種特化・テーマ型ファンドの比率が横ばいで推移。
- 2018年6月頃からテーマ型インデックス連動ファンドが登場。
- テーマ型インデックスは指数構築プロセスが特徴的。組入銘柄・ウェイト設定にビッグデータ解析・機械学習関連の技術を活用するケースが多い。
- アクティブ型のテーマ型ファンドと比較するとテーマ型インデックス連動ファンドは運用管理費用が低水準であり、更なる分野・テーマの広がりが期待される。



ファンドアナリスト
福岡 洋祐

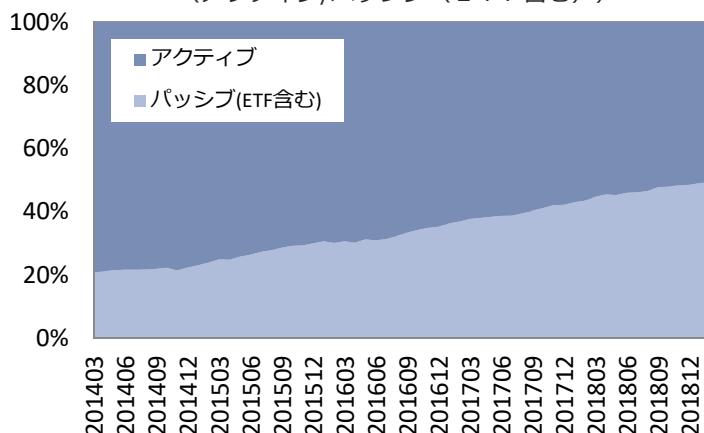
トレンドの変化～パッシブファンドの伸長

直近5年間（2014年3月～2019年2月）における状況について述べる。

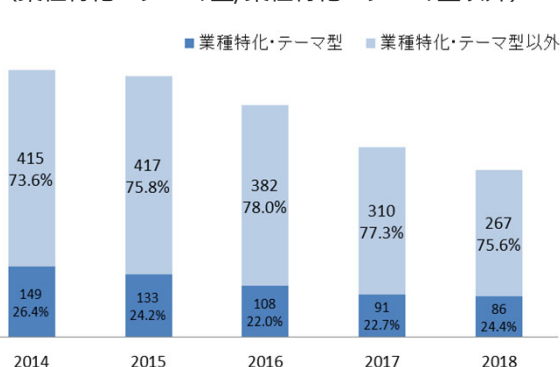
図表1は、アクティブ・パッシブファンド（ETF含む）が純資産残高に占める比率の推移を示したものである。パッシブファンド（ETF含む）の比率は、当初の約20.8%から足元は約49.2%で大幅に増加している。日本銀行の金融緩和政策によるETF買入れ（計：約21.7兆円 出所：日銀HP）もさることながら、個人投資家のインデックス投資も少なからず影響しているものと推察される。

図表2は、新規設定ファンド数に占める比率の推移を示したものである。業種特化・テーマ型ファンド（投資対象を特定の業種・テーマに特化して運用を行うファンド）が新規設定本数に占める比率は約26.4%から約24.4%（純資産残高に占める比率は約8.5%から約11.0%）となっており、概ね横ばいで推移している。

図表1：純資産残高に占める比率推移
(アクティブ/パッシブ (ETF含む))



図表2：新規設定ファンド数推移
(業種特化・テーマ型/業種特化・テーマ型以外)



※DC専用、ラップ専用、公社債投信等を除いた公募投信。
ファンド分類は当社基準による。

スマートベータ／業種別／テーマ型インデックスの登場

TOPIX等の市場全体を代表するインデックスと連動させるのが従来からのパッシブファンドだが、近年ではスマートベータ、業種別、テーマ型など絞り込みを行ったインデックスに連動させるタイプのパッシブファンドが登場してきている（図表3）。スマートベータインデックスは、特定のファクター（要素）に着目して組入銘柄を選定する指数である。業種別インデックスは、特定のセクター（業種）を対象として、その業種の銘柄全体の株価動向を反映する投資成果を目指す指数である。

他方、テーマ型インデックスは、特定のテーマを定め、ビッグデータ分析・機械学習関連の技術を活用して、独自の基準（時価総額・流動性、テーマ関連事業から得られる収益の水準等）によってテーマへの適合性を判定し、銘柄選定・ウェイト設定を行うことが多い。一定のアクティブ性がありながら運用管理費用が比較的低位であるという点は、スマートベータや業種別のインデックスとも共通している。なお、業種別とテーマ別の区切りは一見類似しているが、テーマに適合した銘柄を業種横断的に選定する点がテーマ型インデックス独自のものと言える。

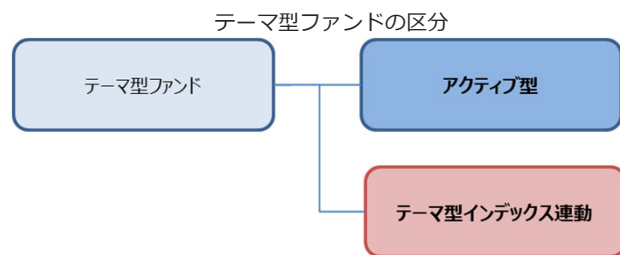
図表3：スマートベータ／業種別／テーマ型インデックスの概要

	概要	例
スマートベータインデックス	ファクター(バリュー・モメンタム・サイズ等)をベータとみなし、高ベータ銘柄を組入れて指数化	ROE：JPX日経インデックス400 高配当：S&P500配当貴族指数
業種別インデックス	市場全体の指数をセクター(機械・建設・商業等)別に細分化し指数化	東証33業種別株価指数
テーマ型インデックス	ビッグデータ・機械学習等を駆使し、テーマ(ロボティクス・フィンテック等)に準拠した銘柄を選定して指数化	KENSHO社、STOXX社、FactSet社等のインデックス

テーマ型インデックス連動型ファンド一覧

図表4は、2019年2月末時点で設定されているテーマ型インデックス連動ファンドの一覧である。2018年6月頃から一部の運用会社で設定がみられるようになった。

定めているテーマは将来性のある見込める次世代の要素技術・マーケット関連等が多い。各ファンドとも設定から1年未満であるため、アクティブ型とのパフォーマンス比較は難しいものの、運用管理費用は類似テーマのものと比較して概ね半分以下の水準である。



図表4：テーマ型インデックス連動型ファンド一覧(2019年2月末時点)

ファンド正式名	運用会社名	設定年月日	純資産残高(百万円)	テーマ	インデックス	運用管理費用(%)	※アクティブ型テーマファンドの平均的な運用管理費用(%)
eMAXIS Neo 遺伝子工学	三菱UFJ国際	2018/08/06	743	遺伝子工学関連	Kensho Genetic Engineering Index (配当込み、円換算ベース)	0.777%	ヘルスケア・バイオ関連 約1.85
eMAXIS Neo ドローン	三菱UFJ国際	2018/12/03	375	ドローン関連	Kensho Drones Index (配当込み、円換算ベース)	0.777%	ロボティクス関連 約1.56
eMAXIS Neo ロボット	三菱UFJ国際	2018/08/06	648	ロボット関連	Kensho Robotics Index (配当込み、円換算ベース)	0.777%	ロボティクス関連 約1.56
eMAXIS Neo ナノテクノロジー	三菱UFJ国際	2018/12/03	326	ナノテクノロジー関連	Kensho Nanotechnology Index (配当込み、円換算ベース)	0.777%	その他 約1.62
eMAXIS Neo 宇宙開発	三菱UFJ国際	2018/08/06	558	宇宙関連	Kensho Space Index (配当込み、円換算ベース)	0.777%	宇宙関連 約1.70
eMAXIS Neo バーチャリアリティ	三菱UFJ国際	2018/12/03	336	VR関連	Kensho Virtual Reality Index (配当込み、円換算ベース)	0.777%	情報技術関連 約1.79
SMT MIRA Index ロボ	三井住友トラスト	2018/10/19	325	ロボット関連	FactSet Global Robotics & Automation Index (税引後配当込み、円換算ベース)	0.75%	ロボティクス関連 約1.56
イノベーション・インデックス・フィンテック	三井住友	2018/10/19	320	フィンテック関連	STOXX グローバルフィンテック インデックス (ネット・リターン、円換算ベース)	0.804%	フィンテック関連 約1.72
イノベーション・インデックス・AI	三井住友	2018/06/29	695	AI関連	STOXX グローバルAIインデックス	0.804%	AI関連 約1.70
イノベーション・インデックス・シェアリングエコノミー	三井住友	2019/02/26	201	シェアリングエコノミー関連 (モビリティ、ストリーミング、旅行、一般消費財・小売、フードデリバリー、人材、産業用レンタル・リース、金融)	STOXX グローバル シェアリングエコノミーライバース インデックス (ネット・リターン、円換算ベース)	0.804%	その他 約1.62

※テーマの分類は当社基準による

テーマ型インデックス連動ファンドの登場によって、アクティブ性のある運用がこれまでよりも低い運用管理費用で可能となった。

今後も更なる分野・テーマの広がりを期待すると同時に、テーマ型インデックスの特性（組入銘柄が少数のため1銘柄当たりの株価変動がファンドリターンに大きく影響する場合があること、組入銘柄入替のタイミングが限定されていること等）には注意しておきたい。

- 本レポートに関する著作権、知的財産権等一切の権利は三菱アセット・ブレインズ株式会社（以下、MAB）に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。
- 本レポートは、MABが信頼できると判断した情報源から入手した本レポート作成基準日現在における情報をもとに作成しておりますが、当該情報の正確性を保証するものではありません。
- MABは、本レポートの利用に関連して発生した一切の損害について何らの責任も負いません。
- 本レポート中のグラフ・数値等は、あくまでも本レポート作成基準日までの過去の実績を示すものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 本レポートは、情報提供を目的としたものであり、投資信託の勧誘のために作成されたものではありません。

【照会先】

三菱アセット・ブレインズ株式会社

アナリストグループ

福岡・持田・吉田・標(しめぎ)・木村

03-6721-1039

analyst@mab.co.jp

〒107-0062

東京都港区南青山1丁目1番1号 新青山ビル西館8階

TEL:03-6721-1010 FAX:03-6721-1020

URL: <https://www.mab.jp/>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1085号

助言・代理業、投資運用業

加入協会名 一般社団法人 日本投資顧問業協会